

第 1 回総合教育会議を踏まえた対応状況

1 「北海道地学協働アワード 2022」の実施

(1) 取組概要

本アワードは、地学協働に取り組んでいる学校のうち、地域と連携・協働して優れた学習活動に取り組み、内容が他の模範と認められる学校に対して、その功績をたたえるとともに、全道における地学協働のより一層の推進と活性化を図るため、北海道教育委員会教育長が表彰するもの

(2) 表彰の対象

道内の公立の高等学校、中等教育学校（後期課程）、特別支援学校（高等部）

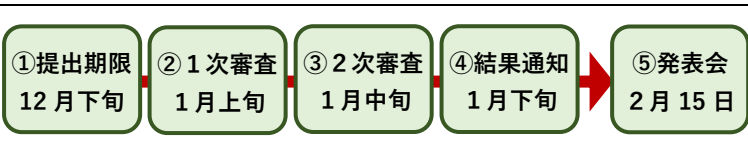
(3) 表彰の基準

幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える地学協働に取り組んでいる学校のうち、総合的な探究の時間や各教科・領域等の授業において、地域の人材や企業、関係機関等と連携して、地域課題の解決を図り、地域の創生につなげていくことを目指した学習活動を進めている他の模範となる学校

(4) 賞の構成

グランプリ、準グランプリ、特別賞

(5) 審査スケジュール



(6) 発表会の実施

- 「北海道地学協働アワード 2022 発表会」(オンライン開催)
- ・「地学協働活動推進フォーラム」(オンライン開催) 中のプログラムの 1 つとして実施
- ・開催日時：令和 5 年（2023 年）2 月 15 日（水）9:30～12:00



【フォーラムのチラシ】

2 「地学協働（高校生チャレンジ）in どさんこプラザ」（仮称）の実施

(1) 取組概要

高校生が実習で生産した商品や企業等と連携して開発した商品を「どさんこプラザ」で販売し、北海道の魅力を発信するとともに、来場者との交流（商品評価等）により、今後の取組の改善・充実につなげる。

(2) 開催日時・場所

- 開催日時：令和 5 年（2023 年）3 月 29 日（水）30 日（木） 8:30～20:00
- 場 所：どさんこプラザ札幌店 催事スペース

(3) 販売内容等

- 高校生による実習生産品や、高校生と企業が連携して開発した商品を 5～8 点程度販売（現在、在庫状況や出品条件等に照らし合わせ、商品選定中）
- 販売に当たっては、高校生数名による販売活動（商品説明を含む）の実施を検討
- 店舗入口付近のスペースを活用した、地学協働活動の P R 活動の実施も検討

(4) 次年度に向けて

- 令和 5 年度（2023 年度）は、道外のどさんこプラザで販売を予定

3 「道立高等学校ふるさと納税返礼品活用モデル事業」（仮称）の実施

○道のふるさと納税の返礼品に道立学校の生産物や企業等と連携し開発した商品をモデル的に登録し、返礼品としての選択状況等を分析・検証することにより今後の取組の改善・充実につなげる。

○令和 4 年度（2022 年度）中の登録を予定（3 校 3 品目程度）